

校長室だより
NO. 46
平成31年1月15日

すべては光る

梅園小学校長
たか すりょうへい
高須 亮平

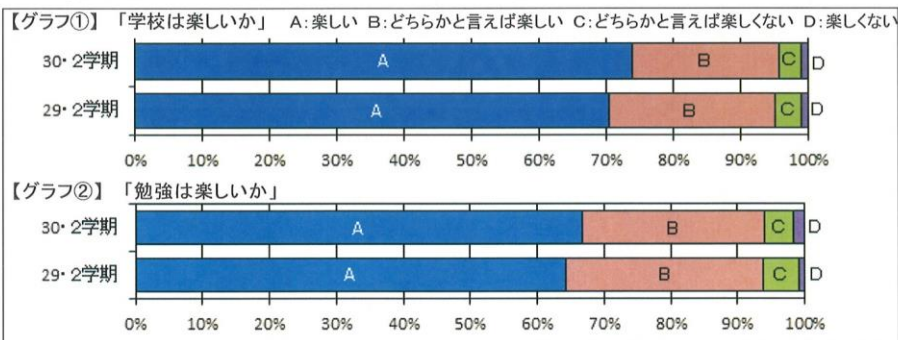
2学期の生活アンケートを基に「なかよし集会」開催

1月11日（金）に「なかよし集会」が開催されました。これは、2学期の生活アンケート結果から、3学期を思いやりの気持ちを持って生活することをねらいとしました。集会の中では、6年のMAXの子どもたちが中心となって、劇や絵本の読み聞かせをしたりしました。また、各学年の子どもたちも生活の中での目標を言い合いました。ぜひとも、友達を大切にする3学期にしていきたいと思います。

今回は、集会の中で発表された2学期の生活アンケート結果をお知らせします。集会では、本年度の1学期の結果と比較されていましたが、昨年度の2学期の結果と比較します。それは、生活の中での友達関係などが同じような状態となっていると考えられるからです。すると、次のようなことが言えてきました。

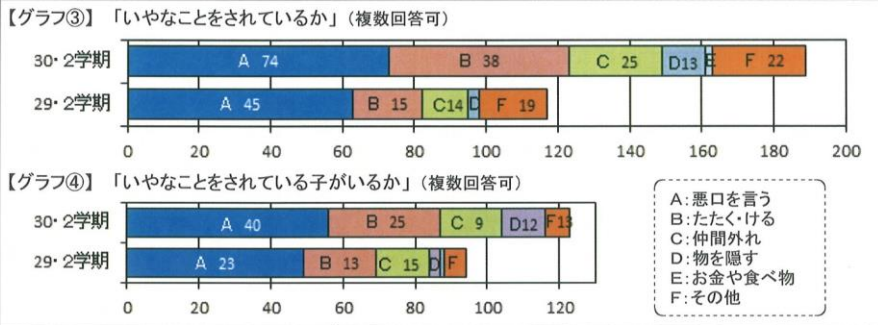
- 1 本年度の方が、「学校が楽しい」「勉強が楽しい」と答える子が、少しですが増えています。反面、「いやなことをされている」「いやなことをされている子がいる」と答える子も増えています。具体的には1.5倍になり心配です。
- 2 「うれしいことをしてもらっている」と答える子が大きく増えています。具体的な内容としては「ほめてもらった」が1.5倍ほどとなり、友達のよさを認めることができるようになってきているようです。

それでは、項目別の状況をみていきます。まず、第1項目「学校は楽しいか」【グラフ①】と第2項目「勉強は楽しいか」【グラフ②】について並べて提示します。



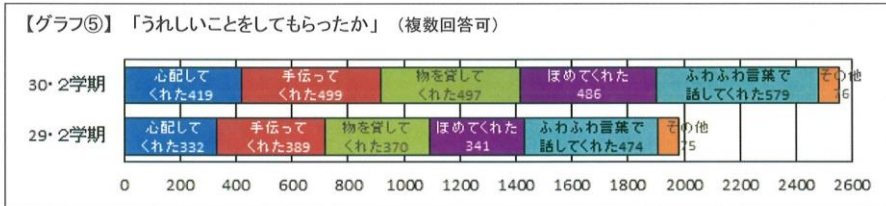
昨年度と比べて、学校・勉強が「楽しい」(A)が増えていることはうれしいことです。これは、2学期に行事や授業等を充実させようと取り組んできた成果とも言えます。また、「楽しくない」(D)は昨年度と比べると微増のようですが、これは、1学期よりも確実に減ってきています。これは、1学期の結果を基にねらいを明確にして、焦点化した指導に取り組んできたことがよかったと思います。

次に、第3項目「いやなことをされているか」【グラフ③】、第4項目「いやなことをされている子がいるか」【グラフ④】は、両方ともかなり増えています。第3項目はほぼ1.5倍となっています。これは、相手に遠慮せず、友達関係を安心して築いている状況という見方もできます。しかし、いやなこととして感じているのは受け手ですので、相手の立場になって考えることが大いに必要のようです。



内訳で言いますと、「悪口を言う」「たたく・ける」がかなり増えています。悪口を言うことからエスカレートして「たたく・ける」ということになっているのか、相手のことを親しく感じるがあまりのことなのかはそれぞれと思いますが、授業等で見直しをする機会をもつことが必要のよう感じています。

次に、第5項目「うれしいことをしてもらったか」【グラフ⑤】についての具体的な数について、これもかなり増えています。いやなことをされる子どもも増えているが、うれしいことをされている子どもも増えているという不思議な状況です。しかし、うれしいことをしてもらっている子どもが増えているということは、「梅っ子スマイル委員会」の「ふわふわの木」などの活動がうまく一人一人に浸透してきているととらえることができます。その内訳として、友達のよさを認めるような内容の伸びが大きく、これからの取り組みでさらによりよくなっていく予感を感じさせます。



3学期は、このような子どもたちの状況を把握したスタートです。心配な面も持っていますが、子どもたちが友達のよさを見つけて、それを認め合いながらよりよく生活していこうとする気持ちも感じられます。そういう面で、この3学期の指導次第では子どもたちの充実ある生活に結びつけられそうですし、前号で述べました「人のことを大切に聞く」ことを指導の軸としていくことは、現状の子どもたちに必要な指導であると考えています。一人一人が、学習面、生活面、行事面等で、やりがいのある活動に取り組める3学期にしていきたいと思っています。